

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	障害支援区分開発導入事業		担当部局庁	障害保健福祉部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	精神・障害保健課		福田 祐典	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	障害者総合支援法第4条第4項		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者総合支援法に規定された「障害支援区分」の平成26年4月からの円滑な施行を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①「障害支援区分」の新判定式を確定するためのモデル事業を実施する。 ② 市区町村において使用する障害支援区分判定ソフトを開発、導入する。 ③ 市区町村の円滑な導入を支援するためのヘルプデスクを設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					310,959
		補正予算					
		繰越し等					
		計					310,959
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	当事業は、障害者総合支援法に規定された「障害支援区分」の平成26年4月からの円滑な施行を図ることを目的としており、数値で成果実績を示すにはなじまない。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	当事業は、障害者総合支援法に規定された「障害支援区分」の平成26年4月からの円滑な施行を図ることを目的としており、数値で成果実績を示すにはなじまない。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
		(—)		(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	障害支援区分開発導入事業費	0	310,959	障害者総合支援法に規定される「障害支援区分」(平成26年4月1日～)の施行に向けて、当該新規事業を平成25年度概算要求で要求する。			
計	0	310,959					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、障害者総合支援法に規定される「障害支援区分」(平成26年4月1日～)の円滑な施行に必要であり、優先度は極めて高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	障害支援区分の認定業務に際して市区町村が使用する、全国一律の基準に基づく障害支援区分判定ソフトを開発する事業であるため、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本事業は、障害者総合支援法に規定される「障害支援区分」(平成26年4月1日～)の施行のために不可欠なものであり、25年度に実施する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
	本事業は、「障害支援区分」の施行に向けた新たな判定式の確定、ソフトの開発、円滑な導入を図るためのものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	

※平成25年度新規事業のため、平成24年度実績はありません。

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					